

# ♪わが家のアイドル♪



嬉  
川上 七祇ちゃん(2歳6カ月)  
 亜津ちゃん(11カ月)  
仲良し姉妹♡2人とも、また行こうね♪

谷川町  
緒方 穂ちゃん(4カ月)  
 凜ちゃん(4カ月)  
元気に育ってね!

喜志町  
戸野 琴菜ちゃん(3カ月)  
産まれて100日たちました〜♪

藤沢台  
味村 ゆずちゃん(4カ月)  
やんちゃっ子ゆずちゃん♪スクスク大きくなあれ☆

## みんなの広場

宛先

584-8511  
住所：〒584-8511 富田林市役所都市魅力課  
常盤町1番1号

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真に、メッセージ(20字程度)を添え、住所、保護者とお子さんの名前(ふりがな)、撮影時の年齢(月齢)、電話番号を記入し、封書で上記の宛先まで応募してください。また、市ウェブサイトからもご応募いただけます(右図のQRコードから応募ページにアクセスできます)。なお、今応募された場合、掲載は約6カ月後になります。



御木 志ず江さん(11月21日生まれ)



越野 ツヤ子さん(11月22日生まれ)



伏屋 綾子さん(11月30日生まれ)



樋口 富貴子さん(12月5日生まれ)

寿

100歳

おめでと〜ございます!

寿

## 川柳

富柳会 山野 寿之選  
今月の宿題「器」

秀句

優しさを詰めた器に蓋がない

須賀

林 澄子

へ選評V優しさを蓋が出来ないほどいっぱい詰まった器というよりも、優しさを入れる器には蓋が要らないということでしょうか。コロナ禍で過ぎすぎた世の中だからこそ今必要なのは思いやりや慈しみの優しさですね。

仕事終え軍手が掴む湯飲み酒

美山台

品川 俊郎

母の椀小さく切った雑煮餅

藤沢台

二宮 章子

高望みしない一輪挿しの朝

高辺台

児玉 節子

夫婦茶碗金継ぎしつと五十年

錦ヶ丘町

松島 きよみ

大皿に子供の笑顔天こ盛り

不動ヶ丘町

佐野 節子

眠る子のしかと握りし哺乳瓶

藤沢台

高橋 潔

受話器から巧みな詐欺の落とし穴

選者 吟

※2月号は「短歌」を掲載します(なお、応募は12月31日で締め切りました)。

川柳・短歌は、それぞれ別のはがきで応募してください(1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

4月号の「川柳(宿題「予感」)は2月28日(日)、5月号の「短歌」は3月31日(水)までに応募(いずれも必着)してください。

宛先は上記をご覧ください。

## 10年後の自分に手紙を出そう！

富田林市では、市制施行70周年記念事業の一環として、今年成人式を迎える人たちに未来の自分へ手紙を書く、「くすね」10年後の私へ」という企画への参加者を募集しており、現在、約20人から応募をいただいています。

今回、「10年後の手紙」に応募いただいた、喜志中学校区出身の田中 咲幸さんにお話を伺いました。

田中さんは現在、大学2年生で、理工学部の自然科学を専攻されています。小学校の時にミツバチの一生のことが書かれた本を読んでから生き物の生態に興味を持ち、実際に大学で実験を重ねたことで、生物系に進む道を決意されたそうです。

2年生になってからは、新型コロナウイルスの影響で一部の実験以外の講義は、ほとんどがオンライン授業になってしまっていると話してくれました。

彼女の10年後の夢は、企業や大学などで遺伝子の研究をすること。そのためには、今から幅広い知識をどんどん吸収して、ネットの情報だけでなく新聞なども深く読む必要があると熱意に溢れています。

また、「10年後の世界はきっと、水力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーが進歩していると思います」と話してくれました。

「10年後の手紙」には、「物事に計画性を持って順序立てて進めること、そして人とのコミュニケーションを大事にする」と。この二つがきちんとできていますか」と、未来の自分に伝えたい言葉を書いたそうです。手紙のことは日ごろから適切なアドバイスをくれる母親にだけは話しているけれど、自分自身、10年後に覚えている自信がない、と笑って答えてくれました。



「くすね」10年後の私へ」を、引き続き募集しています

1月に成人式を迎える皆さん、30歳になった自分が受け取る手紙を書いてみませんか。

対象者 市内在住・在勤・在学の新成人

募集人数 40人

申し込み 1月12日(火)～3月1

日(月)に、住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、郵送、ファ

クスまたはメールで☎584・8511常盤町16の11 生涯学

習課(FAX)8058・Eメールgakku@city.tondabayashi.jp)

へ(申し込み多数の場合抽選)

※当選者には後日、手紙の書き方などについて詳細をお知らせします。

※詳しくは、市ウェブサイト(生涯学習課のページ)をご覧ください。

生涯学習課(☎8056)

## 「多様性が尊重された社会に向けて」

新しい1年が始まりました。昨年は新型コロナウイルス感染症の流行で、世界中が混乱した1年でした。今も続くこの状況が少しでも早く収束することを願っています。1年延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックも今年は開催予定です。どんな感動のシーンが見られるのか楽しみです。

## ■体の鍛錬だけでなく、心身の育成

東京オリンピック・パラリンピックと言えば世界各国を代表する選手が集まって競い合う大会というイメージが強いかもしれません。

しかし、近代オリンピックの父と呼ばれるクーベルタン男爵は、「スポーツは体を鍛えるだけでなく、心身の調和のとれた人間を育成し、フェアプレーの精神や友情、道徳、連帯感を育むことができる。さらに、国際的な競技会で他国の選手と親しくなり、多様な文化や芸術に触れることで平和な社会の実現につながる」と考えたそうです。



## ■競技中はライバル、競技後は仲間として

これまでのオリンピック・パラリンピックを見ると、マラソン選手が給水を行うときに、自分のドリンクを取れずに困っていたらライバルの選手が自分の水を走りながら渡す場面があったり、メダルを争って滑っていたスケートの選手が、競技を終えると仲間として抱き合ったりする場面が見られたりしました。



この時の選手たちの間には国境や立場、考え方や外見の違いなんて関係ありません。共に努力を重ねてきた仲間として、また、同じ人間として認め合う関係です。

## ■平和な社会の実現をめざす

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催が延期されたオリンピック・パラリンピックですが、現在開催が予定されているこの新しい年にもう一度、多様性が尊重された平和な社会の実現に進んでいけたらいいですね。

教育指導室 (内線364)